

5/25 田中みねさん、100歳おめでとう
たくさんの人に祝福される

田中みねさんが、めでたく100歳の誕生日を迎え、入所している老人保健施設ほほえみ三戸で、お祝い会が開かれました。みねさんには、町から顕彰状と記念品が贈呈されました。祝いの品を受け取ると、にっこり笑顔を見せました。



にっこり笑顔のみねさん

大正9年5月25日に旧猿辺村で生まれたみねさんは、結婚して子4人、孫4人、ひ孫2人に恵まれています。夫の印刷業の手伝いと裁縫の先生をしていたみねさんは、きれい好きで、礼儀正しい性格です。人と会話することが好きで、施設の職員や他の入所者からも慕われており、元気に生活しています。みねさんは「たくさんの人に祝ってもらえて、とてもうれしい」と周囲への感謝の気持ちを語りました。



カキツバタと蛇沼地区環境資源保全隊の皆さん

多面的機能支払交付金制度を活用

5/30 蛇沼地区のカキツバタが美しく咲く

蛇沼地区環境資源保全隊（岩間雅晴代表）が丹精を込めて育てたカキツバタがきれいな花を咲かせました。蛇沼地区環境資源保全隊は農家を中心とする団体で、景観形成活動のほか、水質保全活動、農用地の維持管理などの活動をしています。

岩間代表は「蛇沼地区の皆で力を合わせて頑張っています。10年以上続いている活動です。これからも楽しみながら続けていきます」と今後の活動にも意欲を示しました。

6/13 下田地区の子どもたちが稚魚を放流

下田地区資源保全会（戸田沢孝彰会長）は、イワナの稚魚約10,000匹を猿辺川に放流しました。放流には、下田地区の子どもたち15人が参加。子どもたちは、元気に育つようお願いを込めて稚魚を放流しました。

戸田沢新汰さん（7歳）は「イワナが大きくなって戻ってくるのが楽しみ。戻ってきたらたくさん釣ってみたいです」と笑顔で話しました。戸田沢会長は「地域の自然を豊かにするため、今後も活動を続けていきたいと思います」と話しました。



大きくなって戻ってきてね!

※ これらの事業は、多面的機能支払交付金制度が活用されています。三戸町では、泉山りんごの会、上目時環境保全会、杉沢地区資源保全会、泉山地区資源保全会、下田地区資源保全会、蛇沼地区環境資源保全隊の6つの活動組織が制度を活用しています。

6/6 さんのへ農業小学校で苗植え 大きく元気に育ってね！

子どもたちに農業をとおして食の大切さを教えるさんのへ農業小学校の第3回目の授業が行われ、18人の子どもたちが参加し、サツマイモの苗植えを体験しました。サツマイモの苗を植えたあとは、畑周りの草取りに汗を流しました。

西柚妃さん（三戸小3年）は「サツマイモの苗植え楽しかったです。自分で植えたサツマイモ食べるの楽しみ」と笑顔で話しました。



農作業に取り組む子どもたち



藤村本部長（左）と松尾町長（右）

たくさんの支援をありがとうございます

6/10 藤村さん、消毒剤を寄贈

三戸町スポーツ少年団（藤村淳一本部長）は、町にアルコール除菌剤17ℓを寄贈しました。

藤村本部長は「医療従事者や町の宝である子どもたちのために活用してほしい。子どもたちが安心して勉強やスポーツができるように願っている」と話し、松尾和彦町長に消毒剤を手渡しました。松尾町長は「大会がなくなり、子どもたちの励みになります。消毒剤は、有効に使わせていただきます」と、お礼の言葉を述べました。

6/12 第一生命、マスク・消毒剤を寄贈

第一生命保険株式会社青森支社三戸営業オフィス（池田亮方機関長）は、町に消毒剤2.5ℓとマスク500枚を寄贈しました。

池田機関長は「三戸町が今後さらに活気づいていけるよう応援しています」と話し、松尾町長に消毒剤とマスクを寄贈しました。松尾町長は「町内の子どもたちの感染予防に活用していきます」と感謝の言葉を述べました。



池田機関長（左）と松尾町長（右）

5/29 標語看板を設置

子どもたちの言葉で町に元気を

町に活気を取り戻したいという思いから、町内の小中学生から募集した標語を看板にし、町内各地に設置しました。標語は町内小中学校の6年生と9年生から募集し、寄せられた141点の作品の中から11点が選ばれました。

松尾町長は「子どもたちの標語をとおして、多くの人たちに励ましと元気を届けたい」と話しました。



役場庁舎前に設置された看板

設置場所（順不同）

元木平 au ショップ前、ポケットパーク、道の駅さんのへ入口、住谷橋（三戸町側）、三戸町役場駐車場前、斗川支所前、マックスバリュ入口、三戸町役場庁舎前、おまつり広場、同心町三叉路、猿辺支所前

6/11 仙台区気象台長表彰 アメダスの維持・管理に協力

仙台区気象台（小泉耕台長）は、6月1日の「気象記念日」に合わせ、長年にわたり地域気象観測システム（アメダス）の維持・管理に貢献した三戸町を表彰しました。三戸町では昭和51年、中央公民館敷地内にアメダスが設置され、平成18年に青森県立三戸高等学校付近の町有地へ移されました。



小野寺台長（左）と松尾町長（右）

贈呈式当日は青森地方気象台（小野寺優 台長）が三戸町役場に来庁し、松尾町長に感謝状と記念品を贈呈しました。小野寺台長は「三戸町のアメダスは、気象観測に適した良い場所に設置されています。委託観測業務も含め、長年アメダスの管理に協力していただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。松尾町長は「気象台の活動を支えることは、町の安全・安心のために必要なことだと思っています。今後も地域のために協力します」と話しました。



夏にぴったりの地サイダー

6/18 地サイダー第3弾「りんごっぷるサイダー」完成 三戸町の暑い夏にどうぞ

佐瀧本店（佐藤順一社長）が三戸町の地サイダー第3弾となる「りんごっぷるサイダー」の完成報告会を行いました。

三戸町産の紅玉とはるかのかの2種類のリンゴ果汁を使用していることから「りんごっぷるサイダー」と名付けられました。ラベルは、町出身の漫画家故・馬場のぼるさんの絵本「11ぴきのねこ だろんこ」のイラストを使用しており、ほのぼのとしたデザインとなっています。

同店の佐藤雅之専務は「暑い夏に飲んでもらいたい」とアピールしました。試飲した松尾町長は「香りがよく、すっきりとした味わいだ」と話し、完成を祝いました。1本330ml入りで税込み324円。佐瀧本店、道の駅さんのへ、豊川酒店などで購入できます。

6/12 郵便局が11ぴきのねこグッズを寄贈

関連グッズで地域を元気に

三戸郵便局（橋本正俊局長）は、町出身の漫画家である故・馬場のぼるさんのイラストを使用したくじ付き暑中見舞いはがき「あほうどりめ〜」やフレーム切手などを町に寄贈しました。

橋本局長は「11ぴきのねこのグッズで地域が元気になれば」と松尾町長にグッズを手渡しました。松尾町長は「コロナウイルス感染症の影響が広がる中で、明るい話題を提供してもらった」とお礼の言葉を述べました。

寄贈されたグッズ



▲あほうどりめ〜

▼フレーム切手・2種類



▼ジグソーパズル・2種類



▲Tシャツ・2種類

売り上げの一部は、NPO法人「子育て支援ネットゆりかご」に寄附されます。